

名 称	平成30年度 第1回 目黒区障害者自立支援協議会本会
日 時	平成30年6月22日（金）午後6時～午後8時10分
会 場	目黒区総合庁舎 大会議室
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 30年度自立支援協議会新委員紹介</li> <li>2. 第1回医療的ケア児支援関係機関協議会報告</li> <li>3. 30年度の自立支援協議会運営について</li> <li>4. 自立支援協議会学習会について</li> <li>5. 各専門部会からの報告</li> <li>6. 基幹相談支援センター設置検討会について</li> <li>7. 自立支援協議会イベントについて</li> </ol>
出席者	<p>岩崎会長、北本副会長、松尾委員、町田委員、阿部委員、山田委員、松原委員、白鳥委員、野村委員、五十嵐委員、中島委員、田岡委員、武井委員、橘委員、酒井委員、篠崎委員、保坂委員</p> <p>欠席 橋本委員、徳永委員、山下委員、田村委員、重盛委員、田島委員</p>
配 布 資 料	<p>資料1-1 第1回医療的ケア児支援関係機関協議会次第</p> <p>資料1-2 医療的ケア児支援関係機関協議会設置要綱</p> <p>資料1-3 医療的ケア児について</p> <p>資料1-4 地域における医療的ケア児の支援体制の整備</p> <p>資料1-5 目黒区における医療的ケア児支援関係機関協議会について</p> <p>資料1-6 目黒区重症心身障害児者等在宅レスパイト事業</p> <p>資料1-7 医療的ケア児支援関係機関協議会委員名簿</p> <p>資料2 目黒区障害者自立支援協議会（本会）</p> <p>資料3 平成30年度目黒区障害者自立支援協議会予定表(案)</p> <p>資料4 平成30年度目黒区障害者自立支援協議会学習会（案）</p> <p>資料5 専門部会30年度報告</p> <p>参考資料1 自立支援協議会委員名簿</p> <p>参考資料2 自立支援協議会委員席次表</p> <p>参考資料3 目黒発達障害支援拠点 ぼると</p>
会 議	<p>1について</p> <p>新委員は下記のとおり 参考資料1 参照</p> <p>中島浩志委員（渋谷公共職業安定所）</p> <p>田岡尚子委員（権利擁護センター「めぐろ」）</p> <p>橘 静子委員（碑文谷保健センター）</p>

<p>の 報 告</p>	<p>2について</p> <p>資料1-1から1-7まで参照</p> <p>保坂課長から、第1回医療的ケア児関係機関協議会での報告があった。松尾委員、山田委員からの発言も追記し、一定の補足説明を加えて以下に記述する。</p> <p>第1回医療的ケア児支援関係機関協議会が下記のとおり開催された。</p> <p>6月18日（月）6時～8時 於 目黒区総合庁舎大会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉課長から協議会設置について、平成28年に障害者総合支援法と児童福祉法が改正されて、「医療的ケア児」が法的に位置づけられたとともに、自治体における協議の場を作ることが国によって推進されることになった経緯の説明があった。また、目黒区でも医療的ケアが必要な障害児者を対象とした重症心身障害児者在宅レスパイト事業の利用時間が大幅に増加している等から、福祉・保健・医療・教育等の連携の場の必要性があることが強調された。</li> <li>・ 協議会の中では、当事者委員2名から保育園での受入れ状況や特別支援学校の訪問学級在籍中での対応の不十分さも指摘された。保育園の受入れについては、毎日の受入れができていない問題であり、訪問籍の児童は訪問回数が少ない、学校に通いたいに通えないという希望との乖離であり、今後の課題とされた。</li> <li>・ 医療的ケアが必要であると短期入所が利用できないため、区内の病院で短期入所を実施してくれればという意見も提出された。</li> <li>・ 保育園や学校、訪問看護ステーション等の事業所での医療的ケア児受入れを進める場合の人材育成が課題なるという意見が多かった。</li> <li>・ 国が「医療的ケア児コーディネーター」の設置を考えているが、目黒区はどのように位置付けるのか明確にしてほしいという意見があった。この件については、協議会当日は議論できなかったが、その後9月20日に「医療的ケア児コーディネーターとは何か」という学習会を行うことになった。</li> <li>・ 自立支援協議会子ども部会が医療的ケア児の家族にアンケートを行うので、質問内容等について医療的ケア児支援関係機関協議会委員に意見を求めた。（本会の中でも、松尾委員</li> </ul>
----------------------	--

から自立支援協議会の委員にも意見を求めた。)

協議会本会の中でも下記のような意見があった。

- ・ 時間が足りないので議論ができない。論点を絞る等の工夫は必要だ。しかし、年間2回では回数が少なく回数を増やすべきではないかという意見も出た。
- ・ 岩崎会長からは、医療的ケア児支援関係機関協議会で話し合われた内容が障害者計画の改定の際に反映されればというまとめがあった。

※ 本協議会の記録については、医療的ケア児関係機関協議会のホームページも参照。

4. 自立支援協議会学習会

別紙 資料3参照

5. 各専門部会からの報告

別紙 資料4参照

相談支援部会から、子ども部会と同様に行政との懇談会を今年度から実施したいという発言があり、実施の方向性が確認された。

6. 基幹相談支援センター設置検討会について

障害福祉課長から、自立支援協議会から相談支援部会を中心に委員の選出をお願いしたいと依頼があった。

7. 自立支援協議会イベントについて

2月9日(土)午後から目黒区総合庁舎2階の大会議室で開催する。昨年イベントで好評だった参加型のプログラム等を実行委員会で検討しているという報告があった。

また、外部のお祭りに協議会として参加していくという形態は意義はあるが、具体的にどのように参加するかという点では簡単ではないので、様々な参加の仕方について今後検討していければという意見があったので、今後の課題となる。

8. その他

東山に今年4月に設置された発達障害支援拠点ぽるとの4

	<p>月、5月の相談件数は56件で、本人が45%、家族が55% だった。当事者は20代の人が多く、7割を占める。</p>
--	--